

水害を想定したマイ・タイムライン作成講座



(「水防災意識社会」再構築・「逃げ遅れゼロ」を目指します。
利根川上流大規模氾濫に関する減災対策協議会)

みなさん、こんにちは。

〇〇市(区／町)〇〇部〇〇課の　と申します。

本日は、忙しい中、「水害を想定したマイ・タイムラインの作成講座」にお越しいただきありがとうございます。

(はじめに、簡単な自己紹介(1～2分))

水害を想定したマイ・タイムラインの作成

— — — — — 説明のながれ — — — — —

1. はじめに マイ・タイムラインとは
2. 【STEP1】 地区の洪水リスクを知る
3. 【STEP2】 洪水時に得られる情報を知る
4. 【STEP3】 マイ・タイムラインの作成
5. 最後に

(時間：45分)

2

本日の説明の流れです。

マイ・タイムライン作成講座は、3つのSTEP で進めます。

STEP1は「自分たちの住んでいる地区の洪水のリスクを知ること」

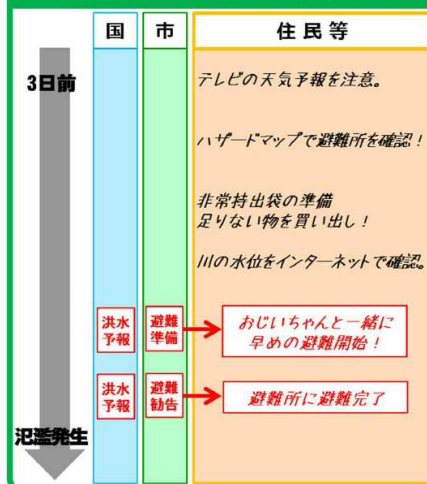
STEP2は「洪水時に得られる情報を知り、タイムラインの考え方を知ること」

STEP3は「洪水時の自らの行動を想定してマイ・タイムラインを作成してみること」
です。

全体で45分を予定しています。

マイ・タイムラインとは…

一人ひとりのマイ・タイムライン(イメージ)



マイ・タイムラインの検討の過程で…

① リスクを認識できる

- ・自分の家が浸水してしまう
- ・避難所まで遠い など



② 逃げるタイミングがわかる

- ・いつ逃げる?
- ・誰と逃げる?
- ・危険な場所をよけて逃げるには?



③ コミュニケーションの輪が広がる

- ・検討会での意見交換などで、知り合いになれる
- ・ご近所とのつながりが強く太くなる



マイ・タイムラインができると…

- ① 災害時の防災行動チェックリストで対応の漏れを防止
- ② 災害時の判断をサポート

逃げ遅れゼロ

鬼怒川・小貝川減災対策協議会

「水防災意識社会」の再構築を目指します。

3

はじめに、「マイ・タイムライン」って、聞いたことはありますか？ よく知らないという方もいらっしゃると思います。

「マイ・タイムライン」は、台風の接近等によって河川の水位が上昇する時に、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、とりまとめたものです。

自分の家族構成や生活環境に応じて、避難に必要な情報・判断・行動を把握することで、時間的な制約が厳しい洪水発生時に、行動のチェックリストとして、また判断のサポートツールとして活用されることで、「逃げ遅れゼロ」に向けた効果が期待されます。

3日前



半日前



5時間前



3時間前



はん濫発生

※写真はイメージです

行動の例

テレビの天気予報を注意。

1週間分の薬を病院に受け取りに行く。



ハザードマップで避難場所、避難手段を確認

川の水位をインターネットで確認

通行止め情報がないかインターネットで確認

川の水位をインターネットで確認

テレビで洪水予報の確認

町内の指定避難所への開始を判断

町内の指定避難所への避難を完了



足下気をつけて



■タイムラインとは

防災行動の「何時」「何を」「誰が」が明確になります。
○次何をするか ○今何をすべきか ○誰の動きにつながるか

タイムラインの考え方について説明します。

図では、一番上が3日前、一番下が氾濫発生となっています。氾濫が発生する時間を仮にゼロ時間として、3日前までさかのぼって、その時々でどのような行動をとればよいか、逃げ遅れがないようにするため予め考えておくものです。



逃げキッドの3つの思い

- ① 道具一式(キット)の意味
- ② 子供(キッド)にも楽しんで防災を学んでもらいたい
- ③ 鬼怒川・小貝川地域の方言で「逃げ切ろぞ!」という意味

マイ・タイムラインが
あるとき..
ないとき..

5

今日は、台風や洪水が来たときに慌てずに行動するために、一緒に「マイ・タイムライン」を作っていきたいと思います。

マイ・タイムラインというのは、一人ひとりの家族構成や生活環境に合わせて、洪水時に、「いつ」「誰が」「何をするのか」をあらかじめ時系列に整理した自分自身の防災行動計画のことです。

皆さんの手元に配布している封筒の中身は「逃げキッド」といって、マイ・タイムラインを楽しく、簡単に作ることが出来る道具になります。

封筒の表紙を見て下さい。

マイ・タイムラインがないときは、避難勧告が発令されてから慌てて避難の準備をするため、「何を持って逃げればよいか」「どこに避難したらよいか」がわからず、逃げ遅れてしまいます。しかし、マイ・タイムラインがあれば、避難場所の確保、非常持ち出し品をチェックし、台風や大雨の情報収集をすることで、避難勧告が発令されても慌てる事なく、安全な避難場所へ逃げる事が出来ます。

それでは、封筒を開けてみましょう。

逃げキッドの封筒の中には

- ・マイ・タイムライン作成のチェックシート
- ・「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでを知ろう！（資料1）
- ・「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの備えを考えよう！！（資料2）
- ・「マイ・タイムライン」を作ってみよう！！（シール付き）
- ・みんなでつくろう！マイ・タイムライン～マイ・タイムラインをつくるためのヒント集～
- ・ご自宅に戻ったらみなおしてみましょう

の6つの資料が入っています。

この資料を順番にやっていくと、マイ・タイムラインができあがります。

それでは作成にはいって行きましょう。

水害を想定したマイ・タイムラインの作成

――― 説明のながれ ―――

1. はじめに マイ・タイムラインとは
2. 【STEP1】 地区の洪水リスクを知る
3. 【STEP2】 洪水時に得られる情報を知る
4. 【STEP3】 マイ・タイムラインの作成
5. 最後に

6

それでは、

STEP1に進みます。

STEP1は「自分たちの住んでいる地区の洪水のリスクを知ること」

です。

マイ・タイムライン作成のためのチェックシート

洪水浸水想定区域図でチェック

◇あなたの住んでいる場所の浸水深は？

_____ m

◇あなたの住んでいる場所の浸水継続時間は？

_____ 時間

◇あなたの住んでいる場所は家屋倒壊等氾濫想定区域ですか？

☐ はい ☐ いいえ

洪水浸水想定区域図を
みましょう！



7

まずは、マイ・タイムラインを作るために、自分たちの住んでいる地区の水害リスクを学んでいきます。

自身の住んでいる地区の水害リスクは、浸水想定区域図やハザードマップを見ると知ることが出来ます。

封筒の中から、「マイ・タイムライン作成のためのチェックシート」を出してください。

チェックシートの上の段に、皆さんが住んでいるところの水害リスクを記入する欄があります。

【ハザードマップを確認してみましょう】

今日は会場を代表地点として、一緒に確認していきましょう。

この会場の

浸水の深さは●m、

浸水継続時間(水がたまっている時間)が●時間(●週間)、家屋倒壊等氾濫想定区域に該当しない(もしくは該当)となっています。

例えば浸水深の深さが3m以上の場合は、2階に逃げても水に浸かってしまいます。災害発生前の早めの避難が必要です。

また、浸水の深さが深くなくても、浸水する時間が長期間だと、トイレなどのライフラインが使えない可能性もあります。

また、家屋倒壊等氾濫想定区域内に住んでいる方は、水の勢いによって建物が流されてしまう可能性があるため早めの避難が必要になります。

家庭の状況チェック

車 ☐有（ ）

ペット ☐有（ ）

持病薬 ☐有（ ）

避難に支援が必要な人（高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦）
☐有（ ）

親戚など避難を受け入れてくれる場所
☐有（ ）

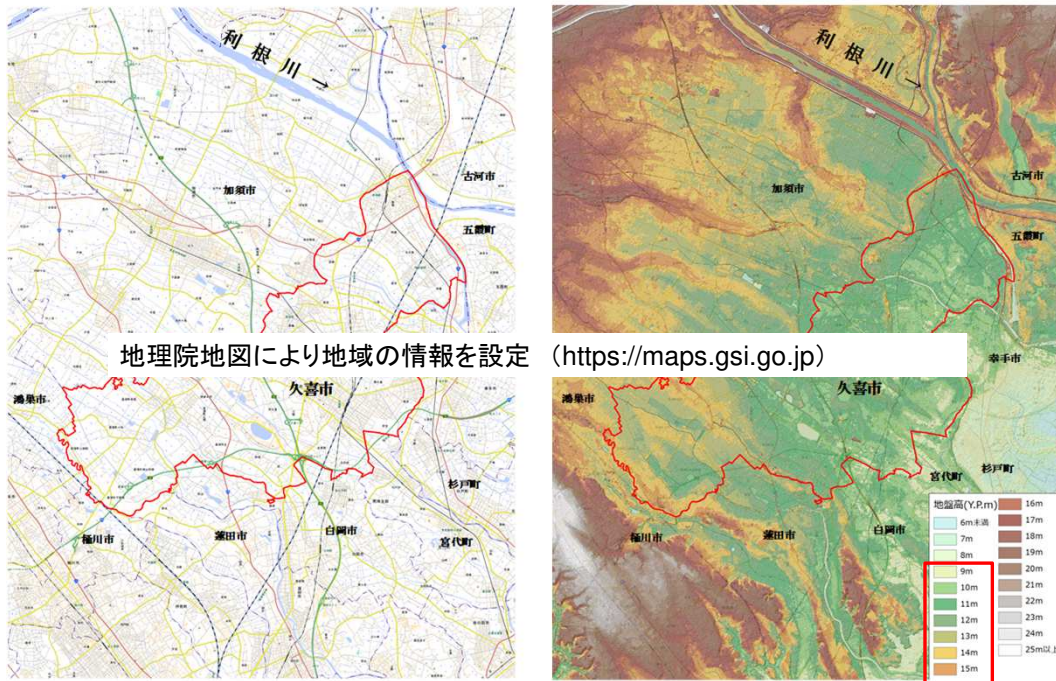
8

次に、チェックシートの下段、オレンジ色の部分をみてください。家庭の状況チェックがあります。

例えば、車の有無は避難方法に関係してきますし、車が複数台ある場合は、浸水しないように、避難に使わない車を事前に高台に避難させておくことなどが考えられます。

こちらについても一人ひとり違うので、後でやってみて下さい。

マイ・タイムラインを作る時には、避難行動は自分一人だけのことを考えるのではなく、みなさんのご家族の状況を確認することが大切です。



地区の洪水リスクを知る、を進めます。

こちらは、久喜市の地図(左)と標高を示した図(右)です。

久喜市の標高は概ね10m～13mで、決して高いとは言えない地域であることが分かります。

※ $Y.P. = T.P. + 0.84$

※T.P.(東京湾中等潮位)

Tokyo Peilの略。地表面の標高を表す場合の基準となる東京湾の海面の高さ。

市販の地図に記されている地盤の高さなどを整合している。

※Y.P.(江戸川工事基準面)

Yedogawa Peilの略。江戸川堀江の量水標の0を基準として、江戸川、利根川、那珂川等の水位の基準となっている。

地形の特徴から学ぶ（治水地形分類図）

STEP1



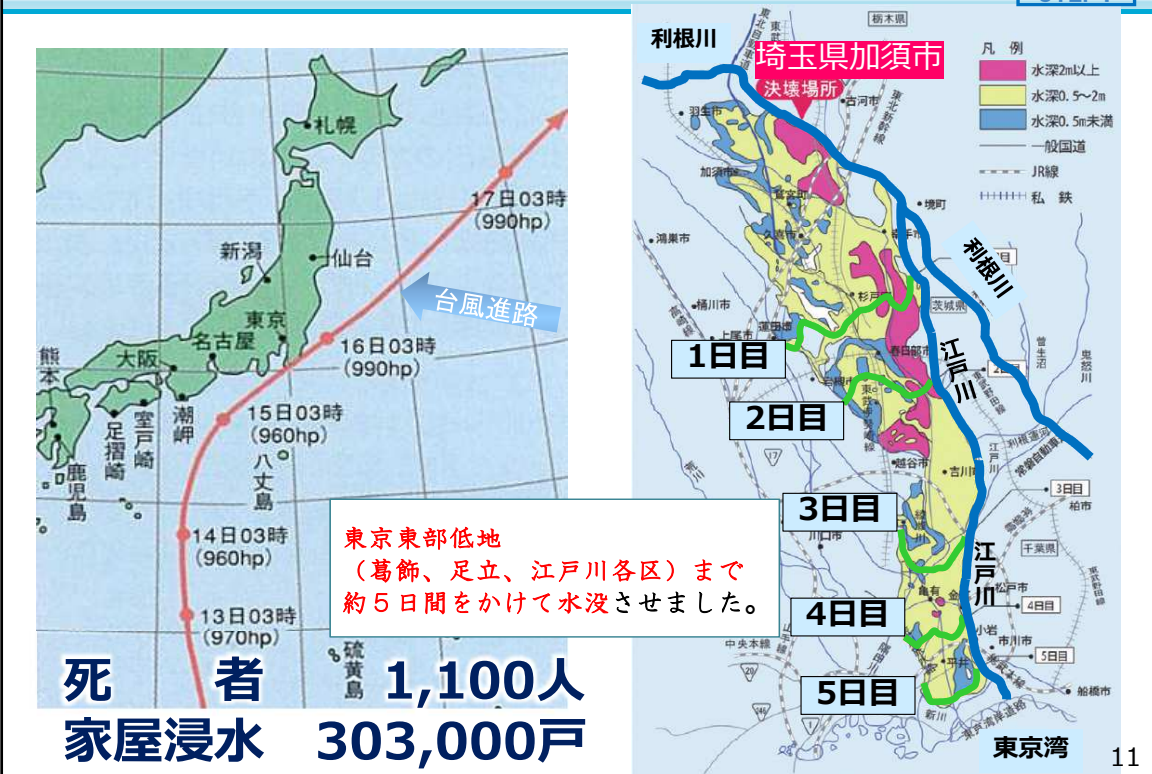
10

次に示す図は、「治水地形分類図」と言います。

- ・久喜市は、昔はどんな場所だったか、考えたことはありますか？
 - ・この地図は、昔川が流れていたところや氾濫したときに土砂が溜まったところ等の地形を表しています。
 - ・久喜市の東部は、氾濫平野（過去の洪水によって作られた平野）や旧河道（昔川だったところ）、自然堤防（氾濫した土砂が川岸にたまって高くなったところ）が存在する地域であることが分かります。
 - ・西部には氾濫平野の他に茶色い段丘もみられ、比較的高い地域です。
- このように、久喜市は、昔から河川の氾濫によって形成された平野に位置しており、水害のリスクの高い地域であることが分かります。
- ・この図は、国土地理院のホームページで見ることが出来ます。

過去の水害から学ぶ（昭和22年 カスリーン台風）

STEP1



・久喜市の近くを流れる利根川は、約73年前（2020年現在）の1947年にカスリーン台風による大雨で、堤防が決壊しました。

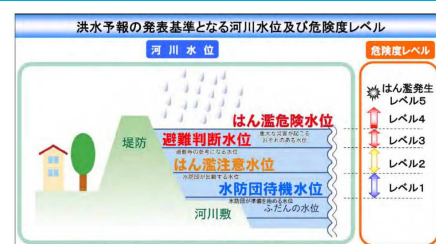
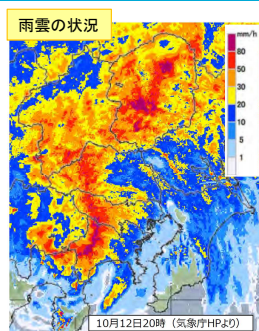
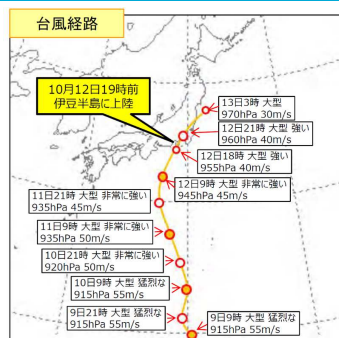
・左の図は、カスリーン台風のとおった経路です。台風は、房総半島をかすめ、上陸はしていませんが、このとき日本付近にあった停滞前線に台風からの湿った空気が加わって前線が活発化し、歴史に残る大雨を降らせることになりました。

・この大雨により利根川は、埼玉県加須市の右岸、南側の堤防が決壊し、流れ出た水は、埼玉県内に留まらず5日間をかけて、東京の葛飾区付近まで到達しました。右の図は、利根川の氾濫によって浸水した区域を示したものです。

・この台風による被害は死者約1,100人、家屋浸水約30万3千戸の甚大なものとなりました。

令和元年東日本台風(台風19号)における利根川の状況

STEP1

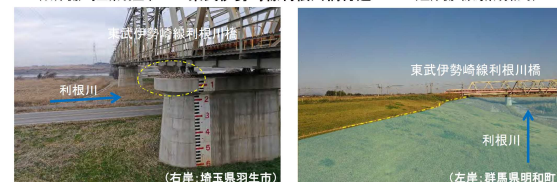


河川名	観測所名	最高水位		水防団待機水位 (指定水位)	はん濫危険水位 (警戒水位)	避難判断水位 (m)	はん濫危険水位 (危険水位)	計画洪水水位
		月日時	水位 (m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)
利根川	上福島	10/12 23時	8.33	2.50	-	-	-	8.88
	八斗島	10/12 23時	4.07	0.80	1.90	3.90	4.80	5.28
	古戸	10/13 1時	7.53	1.50	3.50	-	-	7.68
	川俣	10/13 2時	8.00	1.60	3.20	-	-	7.46
	栗橋	10/13 3時	9.61	2.70	5.00	8.10	8.90	9.90
	芽吹橋	10/13 10時	7.88	2.00	5.00	7.10	7.70	7.94
渡良瀬川	藤岡	10/13 6時	7.55	2.60	4.10	-	-	7.84
	古河	10/13 9時	8.99	2.70	4.70	8.90	9.70	9.72
思川	乙女	10/13 1時	9.61	3.00	5.50	7.70	8.70	8.74
	巴波川	10/13 2時	5.27	2.00	2.70	5.10	5.50	5.51

埼玉県久喜市 JR東北本線利根川橋梁付近



(右岸側)埼玉県羽生市 東武伊勢崎線利根川橋付近 (左岸側:群馬県明和町)



(出典:国土交通省利根川上流河川事務所ホームページ、令和元年東日本台風による出水速報(利根川上流管内)、https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000770371.pdf)

12

昨年の令和10月の台風19号では、日本全国各地で甚大な被害が出たことが記憶に新しいと思います。

台風19号によって、利根川の八斗島上流の3日間の流域平均雨量は310mmで、カスリーン台風(309mm/3日)に匹敵する大雨でした。

利根川の水位観測所では、非常に高い水位を記録した地点が多くありました。栗橋地点では最高水位9.61mを記録し、氾濫危険水位(8.9m)を10時間近く超過する大規模な洪水が生じました。



浸水ナビにて地域の情報を設定 (<https://suiboumap.gsi.go.jp/>)



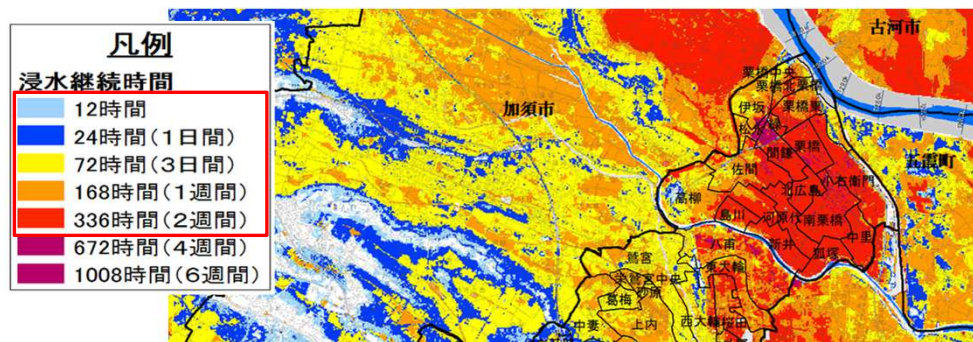
利根川、思川、巴波川の国管理区間の洪水浸水想定区域（最大浸水深）

13

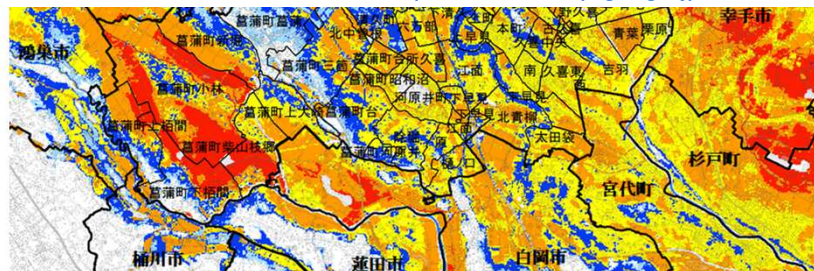
次に示す図は、利根川上流に想定最大規模の降雨がふったときに、洪水氾濫が発生した場合に想定される洪水浸水想定区域図※で、久喜市周辺を拡大したものです。平成29年7月に公表されたもので、国土交通省利根川上流河川事務所のホームページからも見るができます。

想定最大規模の雨で、利根川が氾濫した場合、久喜市は、最大で3メートルから5メートルの浸水が予想されます。

※洪水浸水想定区域図：堤防決壊の可能性のある地点で氾濫した場合の地点別のシミュレーション結果を重ね合わせて最大値を示したものです。



浸水ナビにて地域の情報を設定 (<https://suiboumap.gsi.go.jp/>)



利根川、思川、巴波川の国管理区間の洪水浸水想定区域 (浸水継続時間)

14

この図は、浸水継続時間という図です。

利根川の洪水氾濫によって浸水した場合、水が引くまでにかかる時間を示したものです。

久喜市では、最大で4週間水が引かない場所があることが分かります。



次に、こちらは、久喜市の洪水ハザードマップです。

先ほど示した利根川の洪水浸水想定区域図を基に、久喜市の指定緊急避難場所・指定避難所が示されています。

「指定緊急避難所」は災害が発生または発生のおそれがあるときに命を守るために緊急的に避難する場所です。

また、「指定避難所」は避難した人が災害の危険性がなくなるまで、または災害により自宅に帰れない人が一時的に滞在できる場所です。指定避難所が指定緊急避難場所を兼ねている施設があります。

利根川が氾濫したときの、皆様のご自宅の浸水の恐れと、避難所や避難所までの経路の浸水の恐れを予め知っておきましょう。

洪水ハザードマップは久喜市のホームページや市役所の窓口で入手することができます。

【7ページに戻ってご自宅の状況を記入してみましょう。】

水害を想定したマイ・タイムラインの作成

――― 説明のながれ ―――

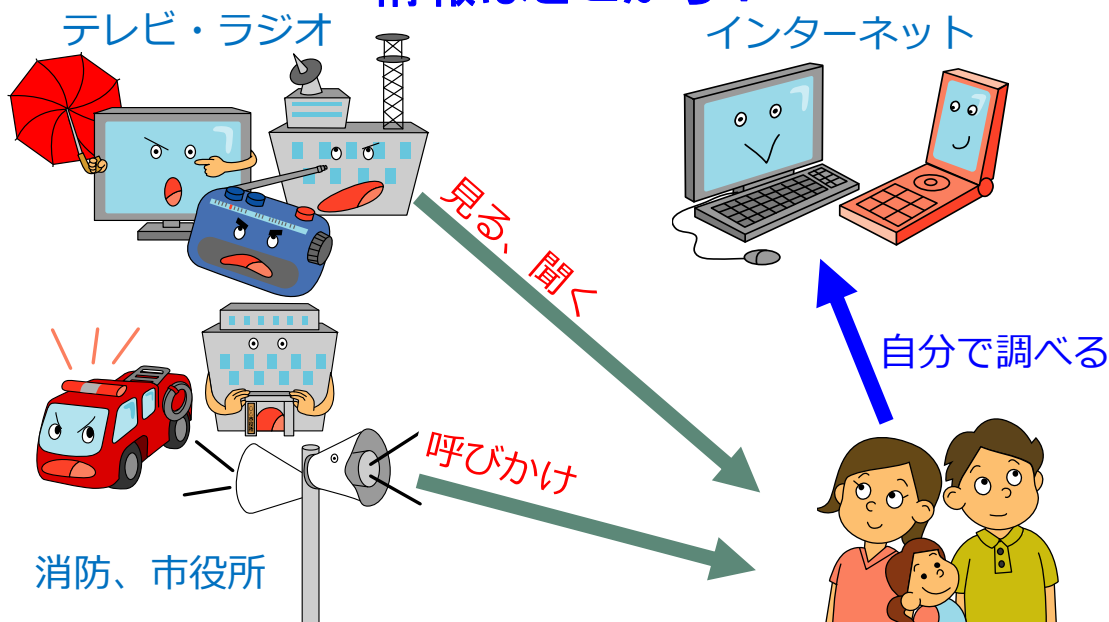
1. はじめに マイ・タイムラインとは
2. 【STEP1】 地区の洪水リスクを知る
3. 【STEP2】 洪水時に得られる情報を知る
4. 【STEP3】 マイ・タイムラインの作成
5. 最後に

16

STEP2に進みます。

STEP2は「洪水時に得られる情報を知る」
です。

情報はどこから？



川の様子を見に行ってはいけません。

17

洪水時に災害関連の情報はどのように取得すればよいでしょうか。

- ・テレビやラジオは、台風や降雨状況、災害発生状況の情報などが放送されます。
- ・市役所の「防災行政無線」や消防車のスピーカーからは避難勧告などの呼びかけがあります。

・このように、テレビ・ラジオ、市役所等から情報が発信されますが、情報が届くのを待っているだけではいけません。

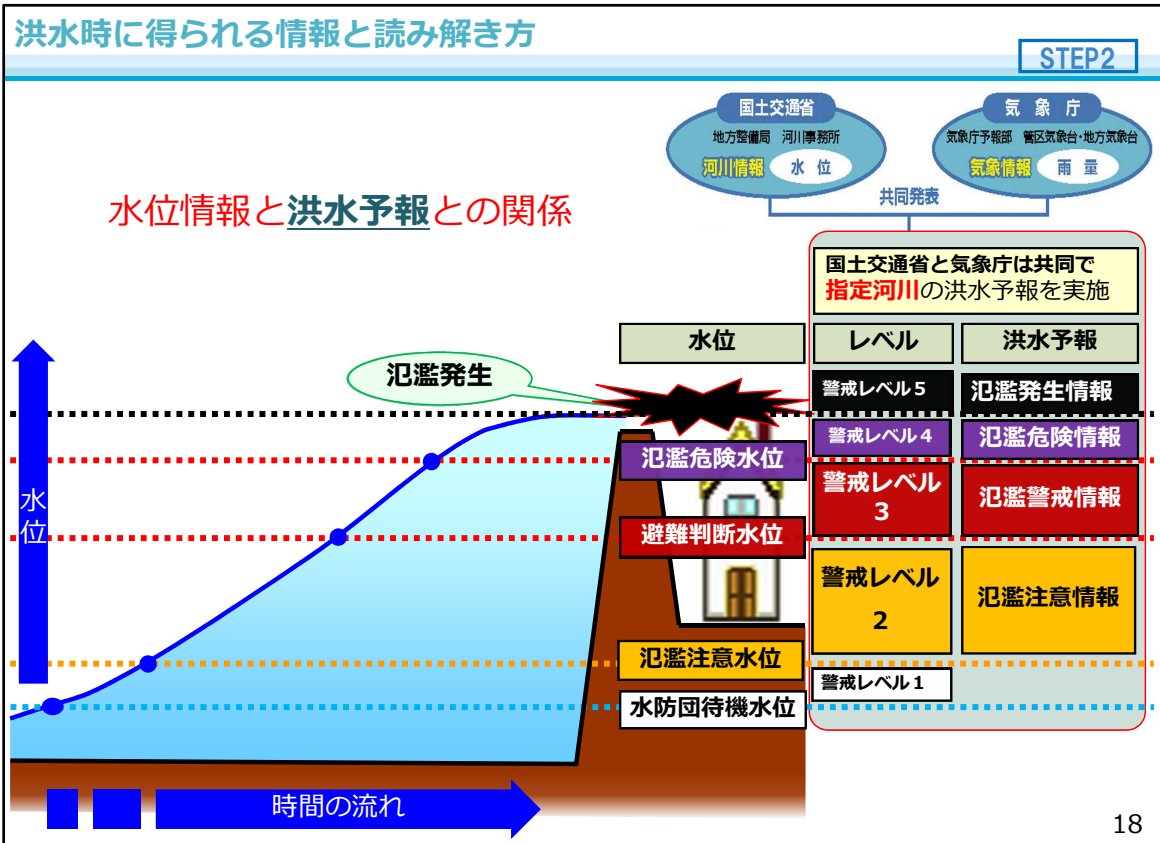
・例えば、自分で携帯電話・スマートフォンやパソコンを使って、インターネットから情報を簡単に入手出来ます。

・インターネットでは、気象庁から台風の進路が、利根川上流河川事務所からは雨量や川の水位、また川を映している監視カメラの映像などが入手できます。

・まとまった雨が降っているときには自分で情報を積極的に取得して自らの身を守るようにしましょう。

・注意事項ですが、このように自宅などで情報を手に入れる事ができますので、川へ様子を見に行くことは絶対にやめて下さい。

毎年、台風が来るたびに川や田んぼの様子を見に出かけた人がたくさん亡くなっています。



川の水位の情報と洪水予報との関係について説明します。

雨が降って河川の水位が上がっていくと、氾濫の危険性が高まっていきます。

主要な河川では、予め洪水時に水位が上昇した際の目安の水位を定めており、この目安となる水位に達すると、国土交通省と気象庁が共同で洪水予報を発表します。洪水予報は、河川の水位状況に応じて、

氾濫注意情報→氾濫警戒情報→氾濫危険情報→氾濫発生情報、の順に発表されます。

防災気象情報と警戒レベル相当の関係(内閣府HP)

水害・土砂災害について、市町村が出す避難情報と、
国や都道府県が出す防災気象情報を、5段階※1に整理しました。

避難情報を利用して速やかに避難
しましょう！

<避難情報等>			<防災気象情報>	
警戒レベル	氾濫発生情報	行動等	避難情報等	【警戒レベル相当情報(例)】
警戒レベル5	既に災害が発生している状況です。 命を守るための最善の行動をとりましょう。		災害発生情報※2 ※2 災害が実際に発生していることを 把握した場合に、可能な範囲で発令 (市町村が発令)	警戒レベル5相当情報 氾濫発生情報 大雨特別警報 等
警戒レベル4 全員避難	速やかに避難先へ避難しましょう。 公的な避難場所までの移動が危険と思わ れる場合は、近くの安全な場所や、自宅内 より安全な場所に避難しましょう。		避難勧告 避難指示(緊急)※3 ※3 地域の状況に応じて緊急防災は 害な避難を促す場合に発令 (市町村が発令)	警戒レベル4相当情報 氾濫危険情報 土砂災害警戒情報 等
警戒レベル3 高齢者等は避難	避難に時間を要する人(高齢の方、障害の ある方、乳幼児等)とその支援者は避難を しましょう。その他の人は、避難の準備を 整えましょう。		避難準備・ 高齢者等避難開始 (市町村が発令)	警戒レベル3相当情報 氾濫警戒情報 洪水警報 等
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップ等により、 自らの避難行動を確認しましょう。		洪水注意報 大雨注意報等 (気象庁が発令)	これらは、住民が自主的 に避難行動をとるために 参考とする情報です。
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。		早期注意情報 (気象庁が発令)	

※1 各情報の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。



この図は、内閣府が定めた「防災気象情報と警戒レベルの関係」を示したものです。

洪水氾濫の発生時に、住民の皆さんが災害発生の危険度を直感的に理解し、的確に避難行動ができるようにするため、避難に関する情報や防災気象情報等の防災情報を5段階の「警戒レベル」を用いて伝えることとされました。

・最近ではテレビでもよく解説されています。

・警戒レベル3は、避難に時間を要する人とその支援者の避難を示す避難準備・高齢者等避難開始の参考となる情報として、氾濫警戒情報や洪水警報の発令。

・警戒レベル4は、速やかな全員避難を示す避難勧告や避難指示(緊急)の参考となる情報として、氾濫危険情報や土砂災害警戒情報の発令。

・警戒レベル5は、命を守るための最善の行動の参考となる災害発生情報等の発令などとしています。

・警戒レベル3と警戒レベル4になったらそれぞれの立場に応じて避難することを考えておきましょう。

もちろん、それよりも早めの行動をとることは、避難時の安全を考えると望ましいことと思います。

川の防災

すぐに使える川の防災情報



国土交通省 関東地方整備局

利根川上流河川事務所

・雨量や水位



利根川・渡良瀬川・巴波川・思川の雨量や水位の情報

利根川上流河川事務所HP リアルタイム情報

https://www.ktr.mlit.go.jp/tonejo/tonejo_index052.html

携帯電話向け <http://www.ktr.mlit.go.jp/tonejo/m/> →

テレホンサービス **0480-52-3824**



レーダー雨量（XRAIN）とその他の河川などの雨量や水位の情報

国土交通省 川の防災情報

PC版 <http://www.river.go.jp/> →

スマホ版 <http://www.river.go.jp/s/> →

ガラケー版 <http://i.river.go.jp/>



・川のライブ映像



利根川・渡良瀬川・巴波川・思川のライブ映像

カメラ（CCTV）画像

<http://www.ktr.mlit.go.jp/tonejo/cctv/>

続きまして、

川の水位や雨量の情報が得られるインターネットサイトをご紹介します。

利根川上流河川事務所のホームページからも川のライブ映像を見ることが出来ます。

川の防災

すぐに使える川の防災情報



国土交通省 関東地方整備局

利根川上流河川事務所

・洪水浸水想定区域図



洪水による浸水の危険性の認識と「いざ」というときの準備のために
利根川、広瀬川、小山川、早川、思川、巴波川、渡良瀬川

<http://www.ktr.mlit.go.jp/tonejo/tonejo00129.html>

・ハザードマップポータルサイト



「わがまちハザードマップ」市町村ことのハザードマップリンク集

<http://disaportal.gsi.go.jp/>



・NHK総合テレビ データ放送



地上デジタル放送（データ放送）において、河川情報（水位・雨量）をわかりやすく、リアルタイムに確認できます。

ご家庭のTVのリモコンの「dボタン」を押して、TOPメニューから『河川水位雨量情報』を選択します。

・利根川上流河川事務所HP



掲載した川の防災情報は、利根川上流河川事務所のホームページの「リアルタイム情報」や「防災・災害情報」、バナーなどからもアクセスできます。

<http://www.ktr.mlit.go.jp/tonejo/>

21

NHK総合テレビのデータ放送でも河川の水位や雨量がわかります。

その他、インターネットのヤフーの天気でもわかります。

このように川の情報の取得方法は、いろいろありますので、自分で試してみて、わかりやすいところから情報を得てください。

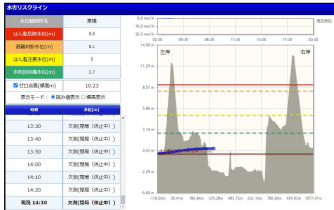
水害リスクラインの概要

- 国土交通省は、洪水時の水位予測結果等と堤防高を元に、上流から下流まで連続的に洪水の危険度が分かる【水害リスクライン】による水位情報の提供を開始しました。
- リスクラインの表示は避難行動・情報の警戒レベルと一致しています。
- 水害リスクラインを確認することで、住民の皆さんは川の危険度の切迫性を確認してください。

<https://frrl.river.go.jp/>

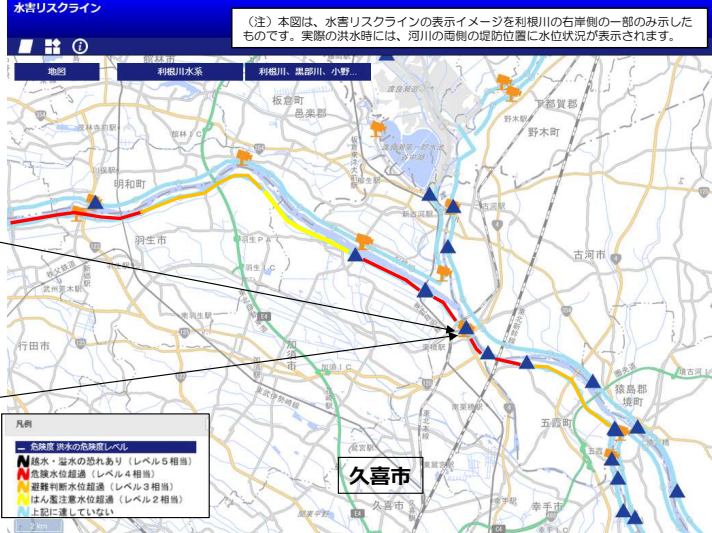


▲を押すと水位観測所の様子が確認できます



栗橋地点の画面イメージ

📷を押すとCCTVカメラで河川の映像を確認できます



水害リスクラインの画面イメージ

インターネットで調べることができる河川の水位の危険度情報として、「水害リスクライン」の運用が始まっています。

「水害リスクライン」は、国土交通省が、災害の切迫感を分かりやすく伝える取組みの一つとして、上流から下流まで連続的に洪水の危険度が分かる水位情報の提供を開始します。

「水害リスクライン」は、概ね200m毎の水位の計算結果と堤防高との比較により、左右岸別に上流から下流まで連続的に洪水の危険度を表示することが可能となるシステムです。

国が管理する全109水系で運用が開始されており、令和2年7月時点で利根川水系は、表示や動作の確認を兼ねた試験配信中となっています。

このリスクラインのホームページでは、川沿いの▲をおすと、水位観測所の水位、カメラマークを押すとCCTVカメラで河川の映像を確認できます。

QRコードも示していますので、活用してください。



次に資料1を見てください。

安全に避難するためには、「どんな行動をするか」ということとあわせて、その行動を「いつするのか」が重要になってきます。

そのため、「台風が発生」してから「川の水が氾濫するまで」に川でどんなことがおきているかを確認していきましょう。

上から順番に進んでいきます。①氾濫が発生する3日前のところに台風が発生」と書いてあります。台風が接近すると「南の海で台風●号が発生しました」と報道されます。このときはまだ雨や風は強くないことが多いです。

次に「②台風が近づいて、雨や風がだんだん強くなる」と書いてあります。雨や風が強くなってくると、出かけるのが大変になってきます。

その次、氾濫が発生するだいたい半日前くらいに「③雨が集まって、川の水がだんだん増える」と書いてあります。ここで注意して欲しいのが、皆さんのところで雨が降ってなくても、川の上流で雨が降れば川の水は増えます。

そして「④激しい雨で、川の水がどんどん増えて、河川敷にも水が流れる」と書いてあります。

河川敷には、普段は水が流れていませんが、雨が激しくなると川の水が増えてくると、河川敷によくあるグラウンドにも水が流れます。

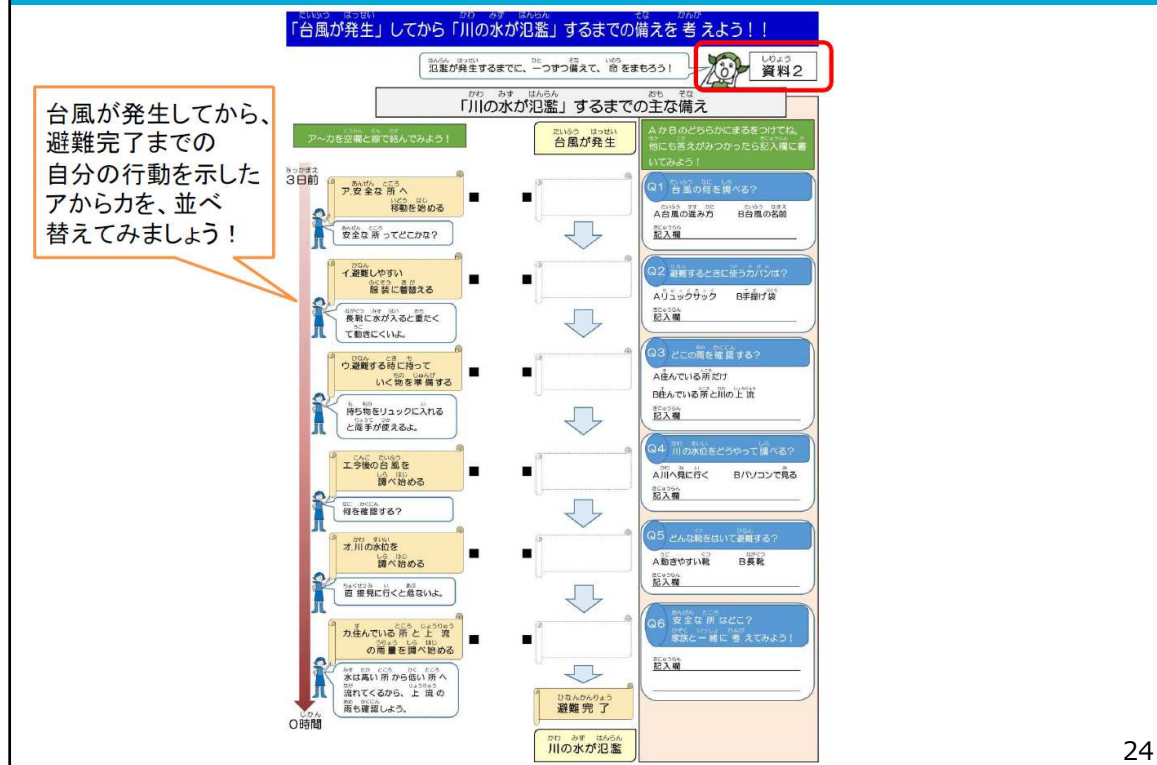
その後さらに水が増えると「⑤川の水がいっぱいであふれそう」になり、

最後、「⑥川の水が氾濫」と書いてありますが、川から水があふれて、街が水浸しになってしまいます。

一番左の矢印を見て下さい。⑥の「川の水が氾濫」のところがゼロ時間となっていて上にいくと⑤が3時間前～5時間前、④が7時間前、ずっとくると①が3日前となっています。

これは、氾濫するだいたい何時間前か、何日前かを目安として表していて「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまで、3日間となっています。

このように、洪水は地震のように突然おきるものではなく、時間を追って進行していくので、準備する時間があるということを知っておいてください。



これまで、「台風が発生」してから、「川の水が氾濫」するまでの流れと氾濫した場合のリスクを知っていただきました。

それでは、どうすればうまく逃げられるか資料2を使って考えていきましょう。

資料2を見てください。

オレンジの枠が上から下まで並んでいます。順に見ていくと、

「ア 安全な所へ移動を始める」

「イ 避難しやすい服装に着替える」

「ウ 避難するときに持っていく物を準備する」

「エ 今後の台風を調べ始める」

「オ 川の水位を調べ始める」

「カ 住んでいる所と上流の雨量を調べ始める」

となっています。

このアからカは、台風が発生してから、避難完了するまでに最低限やっておかなければいけない備えが、順番バラバラで並んでいます。

どの順番にやっていったらいいか並び替えてみてください。

(並び替え作業 ●分間)

さあ時間になりました。皆さんいかがですか？

ここで私がおすすめする順番を発表します。まずは、台風が発生したら、今後、台風が近づいてくるのが気になるので「エ 今後の台風を調べ始める」をいれました。

その次に、台風が近づいてきて雨や風が強くなってしまうと、避難に必要なものがあっても買いに行くことがで

きないので、「ウ 避難するときに持っていく物を準備する」を入れました。

そして3番目は、川の水が増える前には雨が降らないといけないので、水位より先に雨を調べたいと思うので「カ 住んでいる所と上流の雨量を調べ始める」を入れました。

そして、「イ 避難しやすい服装に着替える」をやって、「ア 安全な所へ移動を始める」としました。

違う人もいるとおもいますが、この順番が正解という訳ではなく、これはあくまで私がおすすめする順番です。自分自身の状況を考えて並び替えすることが重要であるため、間違いはありません。

次に同じ資料の右側を見てください。

避難に必要な情報をクイズ形式で考えてみたいと思います。右側にクイズがあるので順に考えていきましょう。

答えだと思う方に手を挙げてください。

まず、第1問。台風の何を調べますか？

「A 台風の進み方」だと思う人、「B 台風の名前」だと思う人。答えは、A 台風の進み方です。

「台風の進み方」の他にも「台風の位置や強さ」も調べましょう。

続いて2問目です。避難するときに使う、カバンは何でしょうか？

A リュックサック(両手があくカバンなど)だと思う人、

B 手提げ袋だと思う人。

答えは、A のリュックサックです。逃げる時は、自由がきくように両手を空けておくといいです。

第3問 どの雨を確認しますか？

A 住んでいる所だけだと思う人、

B 住んでいる所と川の上流(八斗島上流(利根川の場合))など)だと思う人

答えは、B の住んでいる所と川の上流です。上流で降った雨も時間が経過すると川に流れてきて水位を上げるので、注意して見ておきましょう。

第4問。川の水位をどうやって調べますか？

A 川へ見に行くだと思う人、B パソコンで見ると思う人。答えはB です。

川の水位が上がっている時に、直接見に行くのはとても危険なので、やめましょう。

利根川上流河川事務所のホームページでリアルタイムの水位を確認できます。

水位の確認はパソコンで行いましょう。

パソコンがない人は「携帯電話やスマートフォン」で調べましょう。

第5問 どんな靴をはいて避難しますか？

A 動きやすい靴(スニーカーなど)だと思う人、B 長靴だと思う人。正解は、A動きやすい靴です。

長靴は、水が靴の中に入ってくると重たくなるので、動きやすい運動靴などで移動しましょう。

第6問「安全な所はどこ？」

これは、自治体が指定している避難所（浸水しない体育館や公民館）などをハザードマップで確認しながら家で家族と考えてみて下さい。

水害を想定したマイ・タイムラインの作成

――― 説明のながれ ―――

1. はじめに マイ・タイムラインとは
2. 【STEP1】 地区の洪水リスクを知る
3. 【STEP2】 洪水時に得られる情報を知る
4. 【STEP3】 マイ・タイムラインの作成
5. 最後に

25

それでは、
STEP3に進みます。
STEP3は「マイ・タイムラインの作成」
です。

■避難の方法

避難の方法	概要	留意点
自宅に残る (屋内安全確保)	自宅などその 場にとどまり、 安全を確保す ること	- 自宅が平屋の場合は、浸水深が50cm(床上浸水)を越えないこと - 自宅が家屋倒壊等氾濫想定区域内ではないこと - 浸水継続時間が長い場合は、食料、水、常用薬等の準備をしておくこと
市町の指定避難 所へ移動	市町が指定 する近隣の 避難所へ移 動し、安全 を確保する こと	- 指定避難所が平屋の場合は、浸水深が50cm(床上浸水)を越えないこと - 指定避難所が家屋倒壊等氾濫想定区域内ではないこと - 浸水継続時間が長い場合は、常用薬等の必需品を準備しておくこと (事前に洪水ハザードマップで指定避難所の場所を確認)
市町内の高台へ 移動	市町内の浸水 想定区域外な どへ移動し、 安全を確保す ること	- 避難経路の浸水深を確認すること - 移動手段と移動経路を確認し、適切な行動をとること - 食料、水、常用薬等の必需品を準備しておくこと (高台へ移動する前に通行止め状況や渋滞状況を確認)
隣接市町へ移動 (広域避難)	隣接市町の浸 水想定区域外 などへ移動 し、安全を確 保すること	- 避難経路の浸水深を確認すること - 移動手段と移動経路を確認し、適切な行動をとること - 食料、水、常用薬等の必需品を準備しておくこと (隣接市町村のハザードマップで避難場所を確認)

地域の特性により広域避難を考えてみましょう



一言で避難と言っても、いろいろな方法があります。留意点を理解し、いざと言うときに最適な方法を判断できるようにしましょう。

26

マイ・タイムラインの作成の前に、避難の方法について考えてみましょう。

避難の方法はいくつかあります。

それぞれの方法の留意点を理解して、いざという時に、一番良い方法を判断出来るようにしましょう。

- 自宅に残る、という手段は、緊急時には有効になりますが、2週間浸水が継続する地域では、命が助かってその後は、食料不足や生活が困難な状態になり、2次被害が発生します。
- 指定避難所へ移動、という手段は、避難所の数からいって、全員が避難所に入れるとは限りません。また、食料も十分ではなく、プライベートもなくなります。
- 高台へ移動、という手段は、命からがら逃げる手段ですが、さらに救助が必要となる場合もあり、必ずしも1番に救助されるとは限りません。
- 隣接市町へ移動、という手段は、浸水が深くそして長く継続する地域では有効となります。あらかじめどの地域へ逃げるか等、考えておく必要があります。

[illegible]

ここまででみなさんは、「川の水が氾濫」するまでの様子と、その時に「どんな備えをすればいいのか」を知ったことになります。それでは最後に勉強してきたことを思い出しながらマイ・タイムラインを作成してみましょう。

マイ・タイムラインを作ってみようというシートと、シールを出して下さい。

まず、シートの左から二列目の紫色の欄を見てください。先ほど説明した「台風が発生」から「川の水が氾濫」までが書いてあります。

また、一番左には、行政から提供される情報が書いてあります。例えば、3時間前には、氾濫危険情報発表や避難勧告発令などが書かれています。

これらを見ながら、いつ実施するのかを意識して、シールを貼っていきたいと思います。

真ん中のオレンジの空欄のところに、「避難完了」のシールをまず貼りましょう。貼れた人は、先ほど並び変えた防災行動ア～カのシールを貼っていきましょう。

このとき、どのタイミングにシールを貼るのがとても重要です。

紫色の欄で台風や雨や川の水がどうなっているのかを見て、いつその行動を行うのか考えてみましょう。

(シールを貼る時間 ●分間)

アからカのシールを貼れた人は、空欄のシールにオリジナルの備えを記入して貼りましょう。

例えば、携帯電話の充電とか、常用薬をもらいに行くなどやらないといけないいろいろな行動が考えられると思います。

(時間を見ながら)

それもできた人は、持つて行く物や避難先、避難方法などを書き込んでいきましょう。

時間になりましたのでここで作業を中断したいと思います。いかがだったでしょうか。これで皆さんもマイ・タイムラインを手に入れたことになります。

まだ出来ていない人はぜひ、持って帰ってから続きをやってみてください。

また、出来た人も今日作ったマイ・タイムラインをもとに、ぜひ家で話し合ってみてください。

また、避難先についても、ハザードマップなどを参考にして、ご家族で相談してみてください。

ご自宅に戻ったら みなおしてみよう！



作成したマイ・タイムラインを活用して、
早めの避難を心がけましょう！

28

マイ・タイムラインの作成について、最後にいくつか注意事項があります。

「ご自宅に戻ったらみなおしてみよう」というチラシを見て下さい。

1点目です

マイ・タイムラインは作ったからおしまいではありません。今日作ったマイ・タイムラインは、冷蔵庫にはるなど、ご家庭の見やすい場所に置いておいて、台風がくるときなどには備えを確認しましょう。

2点目です。

家族構成や生活環境が変わったときなどの環境の変化や毎年の災害を踏まえ、たえず見直しをしていきましょう。

最後に、

マイ・タイムラインは、あくまで行動の目安です。

“絶対”その通りに動けば大丈夫だということはないので、情報収集をこまめに行ってマイ・タイムラインを目安にして臨機応変に動いてください。

水害を想定したマイ・タイムラインの作成

――― 説明のながれ ―――

1. はじめに マイ・タイムラインとは
2. 【STEP1】 地区の洪水リスクを知る
3. 【STEP2】 洪水時に得られる情報を知る
4. 【STEP3】 マイ・タイムラインの作成
5. 最後に

29

最後に、洪水災害に備えて、本日覚えていてほしいことを説明します。

最後に

防災の3K

K 気づく

水害の頻発化、激甚化により、
どこでも災害が起こり得ることに 気づく

K 考える

洪水ハザードマップをみて避難行動を 考える
災害用品の備蓄を 考える

K 行動する

平常時に避難所まで実施に行ってみる
災害時の備蓄品を実際に 備えて、食べてみる

逃げ遅れゼロ、そして命を守る

⇒ ⇒ **自ら考えて行動することが大事**

30

「防災の3K」を覚えてください。

3Kの一つ目、**気づく** です。

先ほどお話ししましたとおり、

水害の頻発化、激甚化により、どこでも災害が起こり得ることに気づくことです。

皆さんの近くでも大きな災害が起きる可能性があります。

二つ目は、**考える** です。

洪水ハザードマップをみて避難行動を考える。

災害用品の準備を考えておく、

「飲料水」、「非常食」、「医薬品」、「衣類」、「ラジオ」、・・・ 日頃からの備えを頭に入れておくことです。

三つ目は、**行動する** です。

避難所までの道順を実際に歩いてみる。とか、

避難訓練に参加する。とか

災害時の備蓄品を実際に備えて(買って)、食べてみる。

今日学んだ、マイタイムラインを使って、事前防災行動をあらかじめ考えておく。

何よりも命を守る行動を自ら考えてすることが大事です。

終了

31

これで講座は以上になります。

今日作ったマイ・タイムラインを使って、みんなで安全に逃げ切りましょう。

ありがとうございました。